

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3 TEL044-813-4705 FAX044-814-0250 <http://furusatokan.web5.jp/>

夏の企画展に 932人の方々が来館

見て分かる！近代日本の税の始まり

～ある郷土史家の見たふるさと高津～

今年度第1回目の企画展は、昨年につき地域郷土史家 上田恒三氏寄贈の古文書を披露しながら、



「企画展会場」

明治初期に行われた“地租改正”がどのような経過で実施されたかを中心に展示しました。現実の私たちの生活の中では、消費税の引き上げが注目されていますが、明治初期の為政者の税（貢租）に対する考えや農民・庶民の思いが伝わればという狙いでした。来館者からは「税の決め方が良く分かりました。」「土地を測量して区分けする大変さ、現在にも続く税のつく

りなどを大変興味深く見ることができました。」等の声を頂きました。また、展示解説会のあった21日(日)には講師の新井勝紘 専修大教授の軽妙な語り口に「我が国の財政のスタートと国民の関心事の税について理解できました。」「国家財政の元になる地租の重要さが理解できました。」等の声もいただきました。



「展示解説会」

最終日の28日には区民祭と相まって、沢山の来館者で賑わいました。

ふるさと子ども出前授業3校で実施

～自分たちの地域や大山街道のことが分かったよ！～対象児童 396人

今年は高津小、南原小、東高津小の3校で、郷土理解のための学習支援を行いました。「よろ



「出前授業の風景」

しくお願いします。」という元気な声から授業がスタートしました。

まず、自分たちの学校の位置を確認してから地域にある神社や寺院、遺跡や石造物などを詳しく説明していただきました。

工夫を凝らした映像資料と講師の宮田先生（NPO 教育活動総合サポートセンター前理事長）の豊富な知識、見識により

子どもたちの集中がとぎれることなく授業が進行し、授業後の質問コーナーには大勢の子どもたちが参加し活発に発言していました。出前授業を通して、自分たちの住んでいる地域のことを学び、知り、新しいこともたくさん発見したようです。



「講師のお話熱心に
耳を傾ける子どもたち」

郷土理解講座

～探ろう！大山街道の歴史～

中学生を対象に、郷土理解講座「探ろう！大山街道の歴史」を8月9日（金）に開催しました。



講話では平安時代は稲毛庄（荘）、鎌倉時代になると稲毛領など行政区の変遷から高津の中心地として発展してきた溝口村の様子を具体的にお話していただきました。また、社会科自由研究のまとめ方のポイントは大変参考になりました。講座の後半は猛暑にもめげず、街道沿いの史跡を見学しました。



「イベントホールでの学習会」

アンケートでは「周辺の大山街道の変遷がよく分かった。夏休みの課題をどのようにまとめればよいか、つかめた。」などの感想が寄せられました。

「街道の史跡見学」

生徒の皆さんには、講話や史跡見学の意義をふまえ、自分たちの地域への愛着と誇りをもってほしいと思います。

（参加者 21人）

子ども大山街道探検クラブの活動

～大山街道を探検～

5月、二ヶ領用水、久地の円筒分水の探検に続いて6月は溝口神社、ねもじり坂を経て笹の原の子育て地蔵堂までのコースを探検しました。



片町の庚申塔は村に病気が流行らないように建てられたことなど講師の先生から教えてもらいました。

ねもじり坂では坂の傾斜をクリノメーターで測定し急坂であることを実感していました。



「笹の原子育て地蔵」 7・8月の活動は夏休み自由研究に向けての取り組みについてです。出前授業で疑問に思ったことや、探検クラブの見学でもっと調べてみたいことなどをもとにテーマをたてて取り組みます。どのような研究に仕上がるか、9月が楽しみです。

「自由研究への取り組み」

お知らせ

第2回文化講演会 ～溝口村の水騒動～

◇日時：10月19日（土）午前10時～12時

◆内容：1821年（文政4年）二ヶ領用水を巡る水騒動で最も大きいと言われる「溝口村の水騒動」を内容とする講演会です。

◇演題：「溝口村の水騒動」

◆講師：鈴木 穆 氏（郷土史家）

◇会場：大山街道ふるさと館（イベントホール）

◆定員：60人（先着順・・・参加費無料）

※参加者の募集は9月10日（土）から行います。
市内公共施設配布の案内チラシをご覧ください。



「昨年度講演会 大山街道の歴史と文化より」